

第8次高松市行財政改革計画 令和2年度実績の概要

1 概要

第8次高松市行財政改革計画（令和2年度から5年度までの4年間）では、本市を取り巻く社会環境等や課題に柔軟かつ適切に対応する必要があるため、「市民視点」、「経営感覚」、「人的資源の活用」の3つの視点を持って、3つの取組方針に体系化した実施項目に取り組むこととした。

計画期間中、①持続可能な財政基盤の確立、②効率的・効果的な行政運営と人材育成、③参画と協働によるまちづくりの推進を取組方針として、全庁を挙げて取り組むとともに、局進行管理による実施項目については、各局で定めた実施計画に基づいて主体的に取り組んだ結果、歳入増加額と歳出削減額の合計額は、7億1,049万4,000円となった。

2 取組方針

3つの取組方針

① 持続可能な財政基盤の確立

持続可能な財政基盤を確立するため、全庁を挙げて各事務事業の積極的な見直しを実施するとともに、各種補助金等の見直しを図ることで、適正な支出に努めた。また、新たな財源の確保など、歳入の増加に努めた。

② 効率的・効果的な行政運営と人材育成

Web会議システムやA I、R P A等のI C Tを積極的に活用することにより、業務の効率化を図った。また、市民から信頼される行政運営を行うため、職員の職階や職種に応じた効果的な研修を実施することで、意識改革と能力の向上を図ったほか、各職場において定期的にリスクマネジメント会議を実施し、リスクマネジメント体制を強化した。

③ 参画と協働によるまちづくりの推進

市民に必要な情報を分かりやすく効果的に提供するため、ホームページの充実や、各種S N S等による戦略的な広報活動に取り組んだ。また、企業・大学との積極的な連携や、様々な分野において、地域コミュニティ協議会等との協働によるまちづくりを推進した。

3 目標値と実績値

(1) 計画目標

財政調整基金の取崩し額 － 決算剰余金による積増し額 ≤ 0 円

指 標	計画策定時点 (令和元年度)	2 年度実績値
財政調整基金の取崩し額 (a)	28 億円	0
決算剰余金による積増し額(b)	15 億円	14 億円
(a)－(b)	13 億円	－14 億円

※前年度決算剰余金による積増し額を記載

(2) 財政指標

財政指標名	計画策定時点 (令和元年度)	2 年度実績値 (決算見込)	目標値
経常収支比率 (低い方が望ましい指標)	93.4%	94.8%	92.0%
実質公債費比率 (低い方が望ましい指標)	7.8%	7.5%	9.0%

4 実施項目の歳入増加額及び歳出削減額

(1) 年度ごとの内訳

(千円)

	令和 2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	累計額
目標額					
(単年)	①127,030	593,717	605,302	638,398	1,964,447
(累計)	－	720,747	1,326,049	1,964,447	－
実績額					
(単年)	②710,494	－	－	－	710,494
(累計)	－	－	－	－	－

令和 2 年度全体の達成度 (②／①) : 559.3%

(2) 項目分類ごとの内訳

取組項目	目標額（千円）	実績額（千円）
1－1 自主財源の確保	121,746	654,112
<主な実績> ・未利用地等の売払により、目標値 1 億円に対し、1 億 6,222 万 3,000 円の実績額となった。 ・ふるさと高松応援寄附金（ふるさと納税）寄附額の向上により、目標値 2,000 万円に対し、4 億 1,232 万 8,000 円の実績額となった。 ・固定資産税課税客体の適正把握により、7,741 万 1,000 円の実績値となった。 ・羽毛布団のリサイクルの実施により、目標値 10 万円に対し、30 万 8,000 円の実績額となった。 ・廃棄消防車両の売却により、目標値 110 万円に対し、125 万 8,000 円の実績額となった。 ・その他、ネーミングライツの導入や指定収集袋の外装への広告掲載などで実績額があった。		
1－2 財源の重点的・効果的な配分	397	51,931
<主な実績> ・溶融スラグの有効活用により、20 万円の実績額があった。 ・全庁的な事務事業の見直しにより、1,950 万 3,000 円の実績額があった。 ・全庁的な補助金等の見直しにより、3,222 万 8,000 円の実績額があった。		
1－3 ファシリティマネジメントの推進	－	－
2－1 ICT等の活用による業務改革	－	－
2－2 人材育成と働き方改革	－	－
2－3 質の高いサービスの提供	4,887	4,451
<主な実績> ・公共下水道接続率の向上により、目標値 488 万 7,000 円に対し、445 万 1,000 円の実績額となった。		
3－1 市民参画・協働の推進	－	－
3－2 連携の推進と広報機能の強化	－	－
合 計	127,030	710,494

5 局進行管理による取組

(1) 取組状況及び目標達成度（局別）

取組状況		a : 実施済 b : 着手済 c : 未着手 d : 中止 e : 未到来										
目標達成度		A : 100%以上 B : 90%～100%未満 C : 80%～90%未満 D : 60%～80%未満 E : 60%未満										
局 名	実 施 項目数	取組状況（件数）					取 組 項目数	目標達成度（件数）				
		a	b	c	d	e		A	B	C	D	E
市民政策局	6	4	2				6	3	3			
総務局	13	8	5				13	5	4	1	1	2
財政局	12	10	1	1			11	8	2	1		
健康福祉局	10	4	6				10	7	1		2	
環境局	7	5	2				7	5		1		1
創造都市推進局	17	9	6	2			15	6	3	1	4	1
都市整備局	8	3	5				8	6			1	1
消防局	5	1	4				5	1	1	2		1
病院局	5	2	3				5	1	2	1		1
教育局	4		2	1		1	2				2	
合 計	87	46	36	4		1	82 ①	42 ②	16 ③	7	10	7

令和2年度全体の達成度（②+③／①）：70.7%

(2) 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

実施項目	担当所属
「受益者負担見直し基準」の見直し	総務局 人事課行政改革推進室
吹奏楽団事業の見直し	総務局 広聴広報課
再生家具の無償譲渡の拡充	環境局 南部クリーンセンター
中小企業経営講習会等事業の有効的な実施	創造都市推進局 産業振興課
市営駐車場の効率的運営及び利用率等の向上	都市整備局 交通政策課
自主防災組織の育成強化	消防局 予防課
附属医療施設（塩江分院）の整備	病院局 みんなの病院総務課（附属医療施設整備室）

6 プロジェクトチームによる取組

No.	実施項目	主な取組成果
1	保険給付費適正化	・第2期高松市データヘルス計画の中間評価を行い、医療費分析を基に、これまで推進してきた給付費適正化事業、糖尿病予防や慢性腎臓病（CKD）予防対策、介護予防事業等の事業内容や指標を見直した。 ・保険給付費適正化に関する周知啓発を延べ115回実施し、生活習慣病の予防や介護予防等への意識を高めた。
2	ファシリティマネジメントの推進	・総合管理計画の策定指針が改訂されたことに伴い、総合管理計画の議会等関係機関への説明を行った後、パブリックコメントを行った。 ・再編整備実施計画について、5施設分の実施計画を策定した。
3	ICT等を活用した業務改革	・AIによる音声文字起こしサービスを導入し、議事録作成時間を削減した。 ・ビジネスチャットツールを試行したほか、テレワークの本格運用を開始した。 ・Web会議システムを導入し、職員の業務効率化を図った。 ・「おくやみ手続窓口」において、Web会議システムを活用した実証実験を実施し、市民の移動時間削減や職員負担を軽減する業務フローの改善に寄与した。 ・公募制人事異動制度を活用し、自治体のデジタル化を推進する専門職員の登用スキームを構築した。
4	社会保障・税番号制度の推進	・マイナンバーカードの交付に関し、県内市町合同による商業施設でのイベントや、税務署と連携した申告会場でのカード取得キャンペーン等、普及促進キャンペーンを実施したほか、マイナンバーカードの円滑な交付に努めた。また、タブレット端末を使用し、写真撮影及びインターネット申請を行うサービスを継続した。 ・マイナポイント事業につき、各種広報により広く市民へ周知を行ったほか、本庁等市内6か所に支援窓口及び専用端末を設置し、手続支援を行った。
5	地域行政組織再編計画の推進	・地域行政組織再編の推進に向けた実施方針や取組について検討し、決定した。
6	地域共生社会の構築	・まると福祉相談員を、国分寺総合センターエリアに拡充して配置したほか、牟礼・香川・国分寺総合センターに、つながる福祉相談窓口を開設した。 ・まると福祉相談員や、つながる福祉相談窓口に寄せられた相談を、内容等に応じた適切な専門機関や、民間団体等のサービスにつなげるため、相談支援体制のネットワーク構築に取り組んだ。
参考	高松DAPPY	・スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する公募への提案を行うに当たり、迅速に庁内横断的な検討を行うため、高松市スーパーシティ準備チーム（チーム愛称：高松DAPPY）を設置し、前例や現行制度、組織の縦割りにとらわれない検討を進めた。

7 計画に追加した実施項目等

令和2年度追加（外部評価対象事業）

実施項目	担当所属	今後の取組予定
花いっぱい推進事業 （フラワーフェスティバル）	公園緑地課	・「新しい生活様式」への対応として、人との接触を減らし、密集・密接を避けるため、イベント内容を一部見直し、予算規模と事業の縮小を図っていく。
高齢者等交通安全啓発 推進事業 （交通安全フェア）	くらし安全安心課	・交通安全に関する各種展示、アトラクション等を通じ、楽しみながら交通安全意識を高めるとともに、高齢者等を対象に、交通安全に関して実際に体験できるコーナーを設けるなど、集客に努める。
非行防止活動事業	生涯学習課 （少年育成センター）	・少年育成委員や警察、地域の団体等と連携し、万引き防止キャンペーンや青少年健全育成市民のつどいなど、青少年の健全育成活動を展開していく。 ・専用の相談電話「こどもスマイルテレホン」による子どもや保護者からの相談を受け付けるなど、少年相談活動を行う。
少年教育推進事業	生涯学習課	・高松市子ども会育成連絡協議会との共催による新春子どもフェスティバル、フットベースボール大会や、高松栗林ライオンズクラブとの共催による TAKAMATSU こどもサミット等を実施し、子どもの創造性や積極性、社会性を養うため、関係団体と連携し、日常では体験できない活動の場や機会を提供する。
観光イベント振興事業	観光交流課	・各まつりの実施団体と補助金の在り方を協議し、補助金の交付や効果測定などの基準を作成するなど、補助金交付要綱の見直しを行う。 ・コロナ禍において従来の方式によるイベントが軒並み中止になる中、新しい生活様式への対応を始め、今後のまつりの在り方を検討する。
再生可能エネルギー普及 促進事業	環境総務課 （地球温暖化対策室）	・市域における温室効果ガス削減を図るため、日照時間が長いという本市の地域特性を生かした太陽光・太陽熱システム等の設置等に係る経費に対し補助を行う。